



旧御杖小学校の利活用事業者が決定しました



(左) 伊藤村長 (右) 青薔薇(株) 森田代表



旧御杖小学校

「青薔薇株式会社」を利活用事業者として決定

- 御杖村では、令和3年8月末をもって廃校となった旧御杖小学校の校舎とその敷地について、地域活性化に向けた有効活用を図るため、民間の力で利活用をいただける事業者を募集していました。
- 応募のあった事業者の利活用の内容を総合的に審査した結果、この度、「青薔薇株式会社」（三重県伊賀市）を、旧御杖小学校の利活用を行う事業者として決定しました。
- また、御杖村と青薔薇株式会社とは、令和8年6月12日に旧御杖小学校の利活用事業開始に向けて基本協定を締結しました。
協定の有効期間：協定締結日～令和28年3月（約20年間）
- 青薔薇（あおばら）株式会社
代表取締役 森田 浩次
所在地：三重県伊賀市川合103番地の17

今後の予定について

- 令和8年8月～ 賃貸借（仮）契約の締結
旧御杖小学校の校舎と敷地を貸し付けるため、御杖村と青薔薇株式会社は賃貸借（仮）契約を締結します。
なお、仮契約は御杖村議会での議決を得て本契約として成立します。
- 令和9年3月～ 利活用事業の開始（ビリヤード競技大会の開催）
ビリヤードプロ選手を対象とした競技大会を開催します。村民の皆さまにも競技を観戦いただけるよう、青薔薇株式会社が必要な準備や校舎の改修を行います。

※校舎の改修や事業の準備により時期が前後する場合があります。

利活用事業の概要について

● 事業コンセプト



● 事業内容

『「遊び」で「人」と「地域」を結ぶ！みつえアミュレヅジドーム！』をコンセプトに、ビリヤード競技場を主軸とした複合型アミューズメント施設を運営します。



施工後イメージ

現在の旧小学校の設計、配置特性を最大限に活かした内装で、大規模工事を行わず、持ち味を残したまま学校を再利用いたします。

なお、施工は近隣住民の方々のご迷惑にならない様、細心の注意を払い行います。

全国から多くの方が訪れ、御杖村を一人でも多くの方に知ってもらうことも、本事業を通しての目的の一つです。
人々の記憶に残り続けるような素敵な空間を提供します。

青薔薇（株）代表取締役 森田 浩次